

使えるものは何でも使おう!!



からウロコの 新目録システム

平成24年7月20日(金)
2班(橋井・矢崎・大塚)



現状の課題と改善策

【課題】

- 書誌作成館の偏り
(目録スキル格差・人手不足
⇒「作る館」「待つ館」の二極化)
- 書誌調整の負荷
(作成館責任主義
⇒「作る館」に品質維持の負担が集中)

【効果】

図書館職員のスキルレベルに関係なく、均一な書誌を、簡単に作ることができるようになる



【改善策】

- ①外部MARCの有効活用
- ②システムの見直し

外部MARCから書誌を自動作成
・維持するシステムの構築

う^{まい}・は^{やい}・や^{すい}
(高品質・迅速・効率的運用ができる)

三拍子揃った
目録システムへ！！

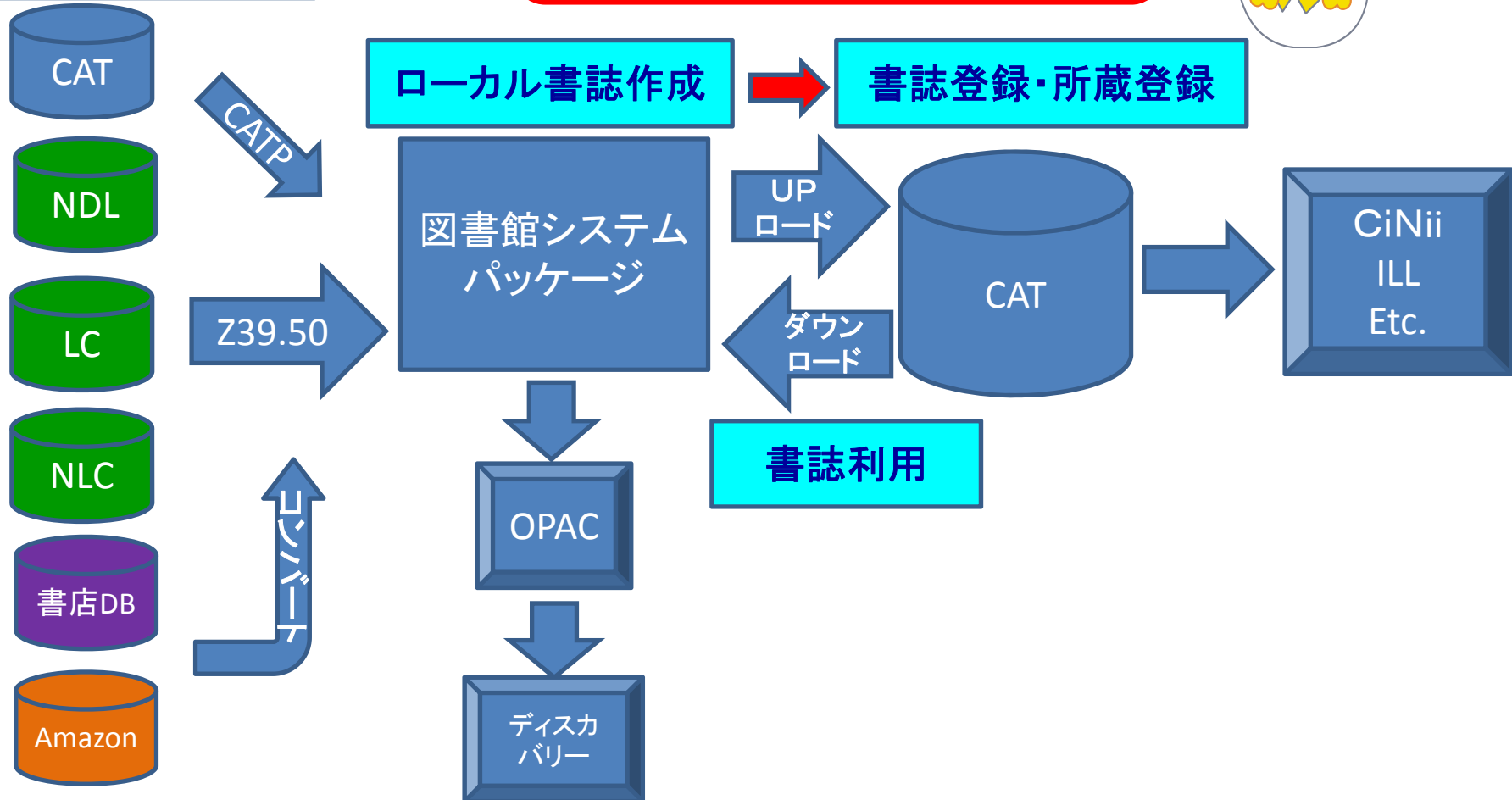
① 外部MARCの有効活用

広範な外部
MARCの活用

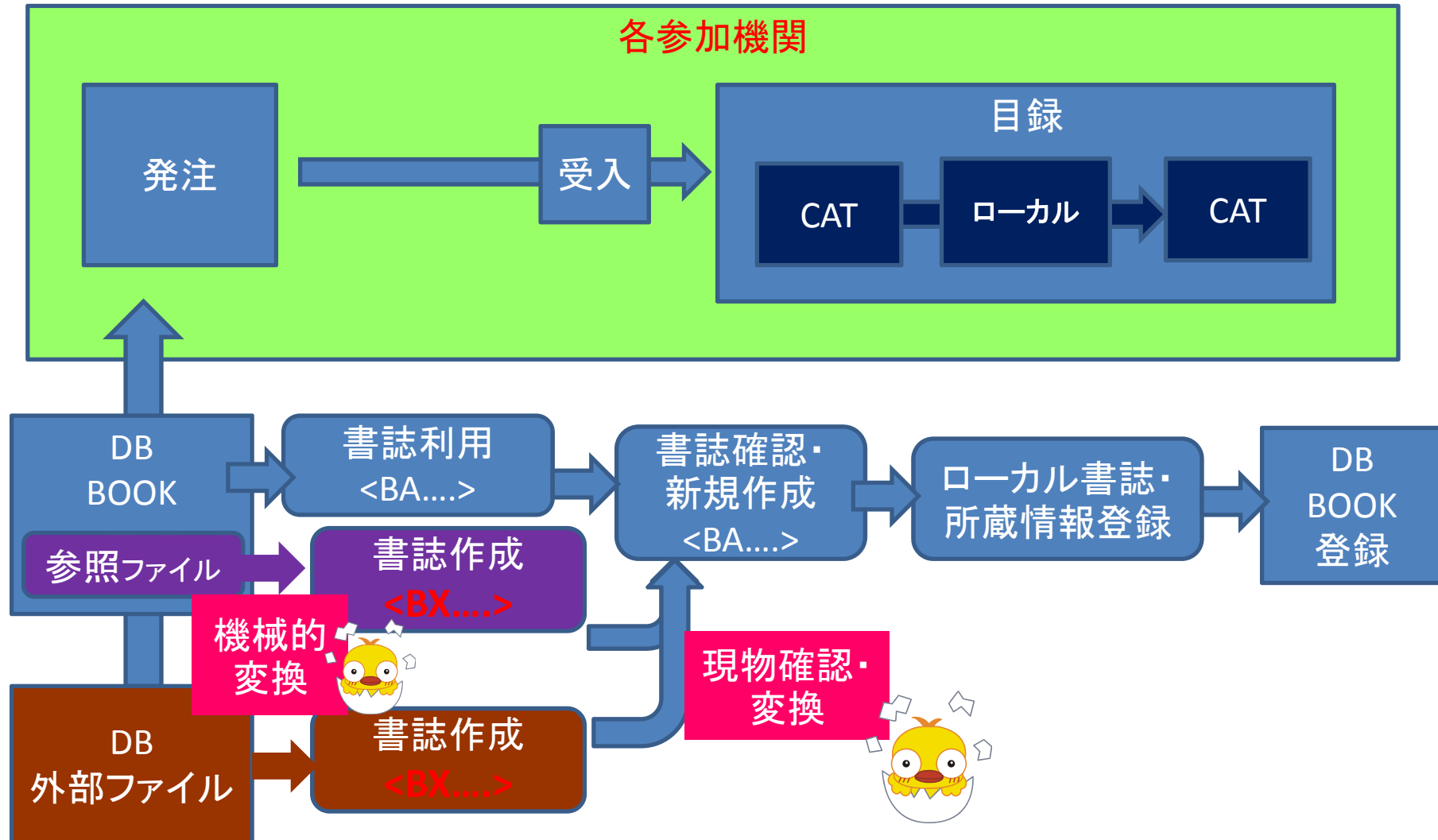


書誌検索取り込み

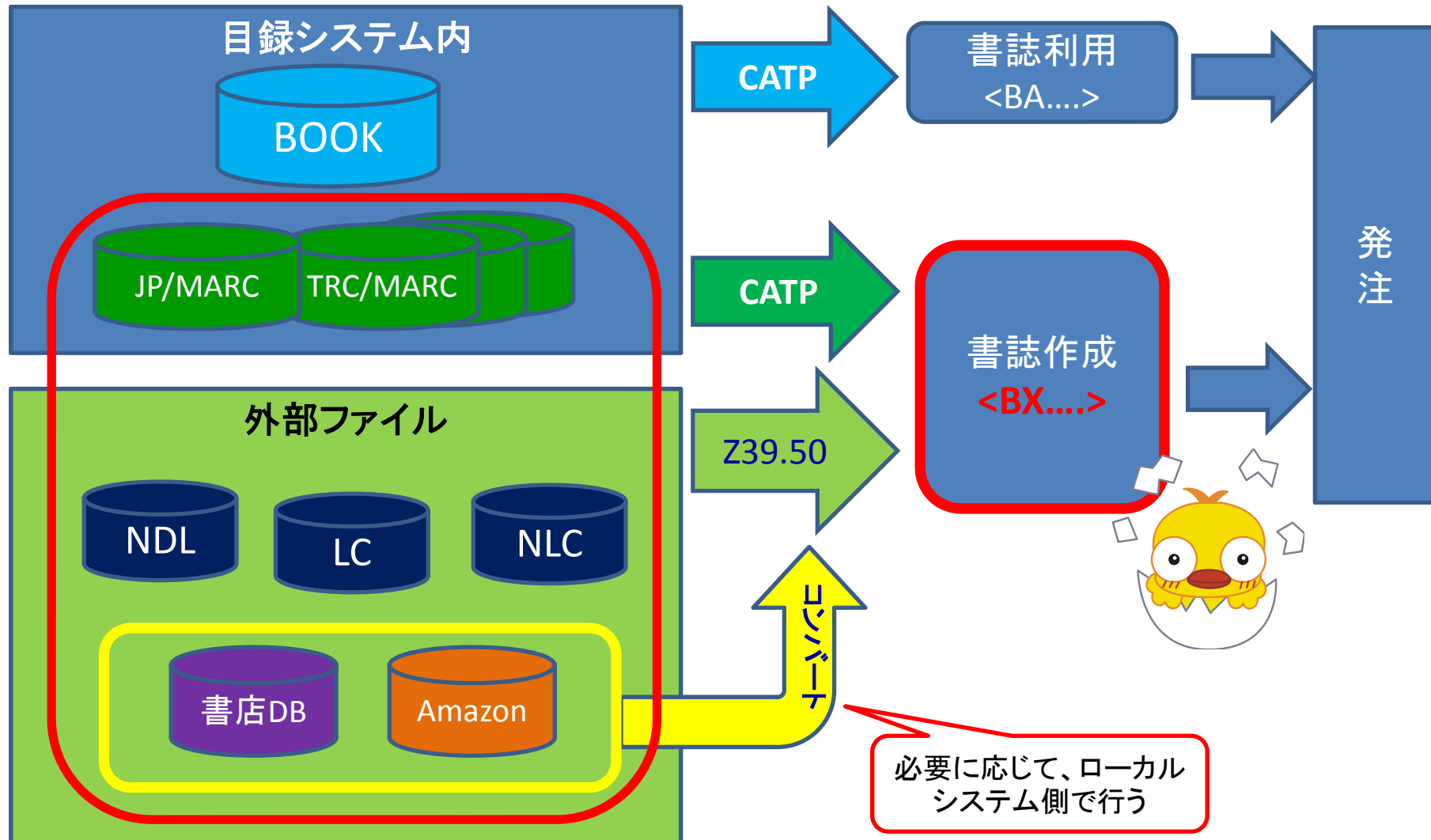
外部MARCを活用してローカル書誌を作成、その後CATに反映させることで、CAT書誌の品質を維持。



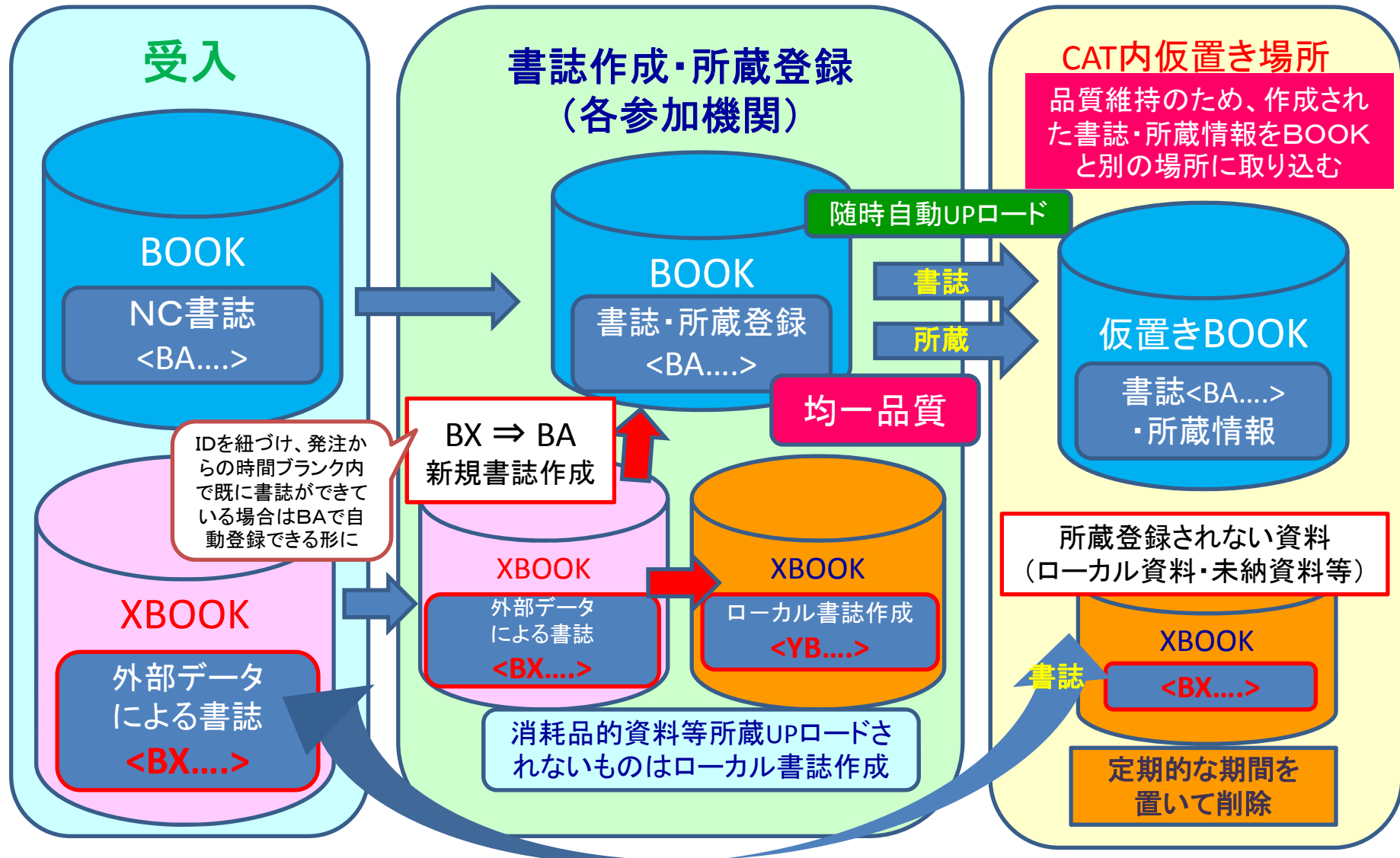
具体的な業務の流れ(全体)



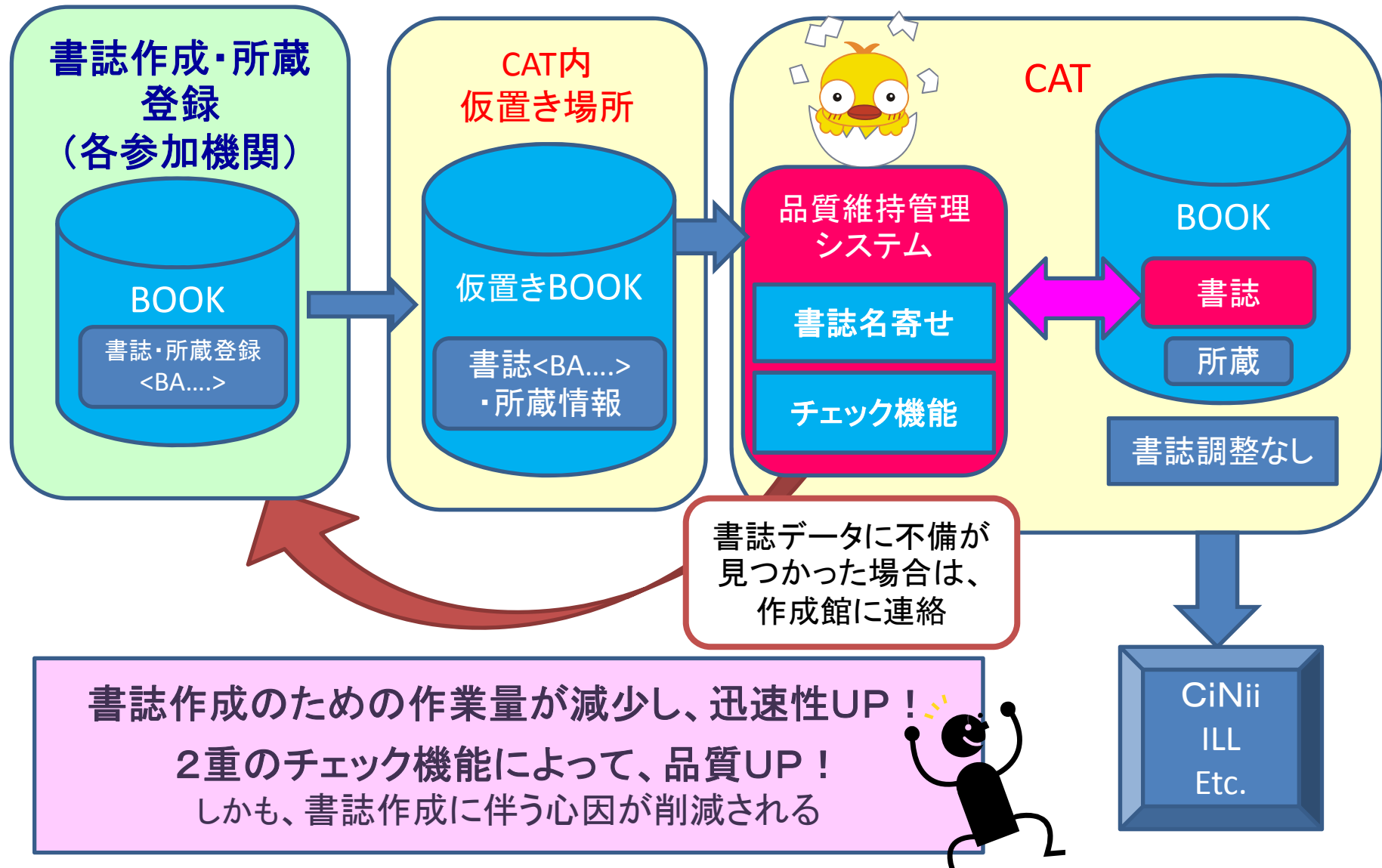
書誌検索取り込み⇒発注



発注後、 受入⇒目録⇒CATへUPロード



CAT上にUPロード⇒BOOKとして登録 (品質管理のために:名寄せ・チェック)



②システムの見直し

☆システムを可能にするために

作成書誌の均一品質確保
(ローカル書誌作成時)

CAT内書誌の品質管理
(CATへのUPロード時)

この2つを可能にする
システムが必要。

目録業務標準仕様
推奨パッケージの
構築



案:NII関連企業「大向システム会社」設立

- ・推奨パッケージを無償で提供
- ・品質管理システムを開発



メリット

①処理にかかる人コスト軽減
(時間的・心情的)

外部データ活用+かんたん書誌作成システムへ

②価格コスト軽減

システム仕様は無償で提供

検討事項

仕様の検討・作成にあたる初期コストが大きい。

長期的に考えると、
経費・担当者の負担共に
軽減される

「大向システム会社」について

NII関連企業「大向システム会社」設立

- ・ 目録業務標準仕様として無償で提供
- ・ 品質管理システムを開発



＜サービス概要＞

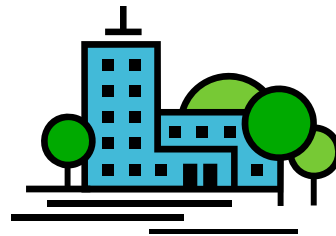
- ・ WebUIを改良、または新しいシステムとして「大学図書館目録業務システム標準仕様」推奨パッケージを開発、各参加機関に**無償**で提供
- ・ CAT書誌の品質維持システムを構築
(名寄せによる書誌統合・書誌チェックと調整機能)

目録業務標準仕様推奨パッケージ

外部データを活用、かんたん書誌作成システムの構築

- ★マニュアルをみなくても簡単操作ができる
- ★自動チェック機能付

初心者にもらくらく操作



大向システム

参加機関と協議の上、
最低限必要な機能を備えた
推奨パッケージを作成。

品質維持のためのコスト軽減

推奨パッケージ
を無償提供

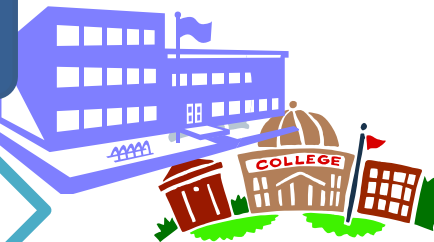
実際の運用状況に基づき、
数年毎にリプレイス

推奨パッケージを利用。
必要に応じて自館に
あわせたカスタマイズ

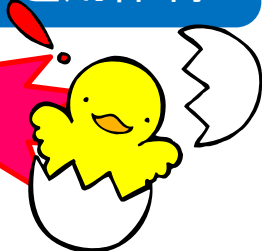
各参加機関

リプレイスの際の
協議・運用体制

- ・目録システム構築のコスト(仕様書作成、システム機器のための人・時間・物コスト)削減
- ・目録業務のためのコスト(人事育成含む)軽減



課題



かんたん書誌作成システム例1

: 目録画面の簡略化



現行入力画面

CNTRY: TTLL: TXTL:
 TR: 万葉集 : 古の心にふれる / 折口信夫訳 || マンヨウシュウ : イニシエ ノ
 ココロ ニ フレル

新入力画面

発行国: 表紙言語: 本文言語: 本タイトル: 副タイトル1: 責任表示1: 本タイトルヨミ: 副タイトルヨミ1:

日本語で記述・フィールドを分割。
 複数記載がありうるフィールドは、フィールドを追加できる形に
 (ex.副タイトル2、副タイトル3...)

参照ファイル(外部ファイル)内に記述の無い必須項目については、類推できる項目から自動的に記入。色やフォント等で、「現物確認が必要なフィールド」として表示する

かんたん書誌作成システム例2 : 目録作成時のチェック機能



例: CATLINT: 目録のケアレスミス発見お助けページ

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/misc/export/cat/catlint2/>

CATLINT: 目録のケアレスミス発見お助けページ

遊び方: 入力フィールドにNII書誌IDを入れて、`Check!` を選択します。
今は図書の子書誌についてだけチェックできます。

NII書誌ID:

和洋区分: あなたにお任せ 和書 洋書
業務モード: 業務用 教育用

- [CATLINTでチェックされる項目の一覧](#) (現在230項目)
- [FAQ: CATLINTについてよく聞かれること](#)
- [やりたいこと・やらないといけないこと](#)
- [変更記録](#) (2011/12/15 更新)
- [旧バージョンのCATLINT](#)

大切なこと (必ず読んでください)

- CATLINTを使った結果生じたあらゆる不都合な点(「総合データを作る」が主なものです)の責任は、使用者個人に帰します。
- 使用できるのは、国立情報学研究所(NII)のCATPサーバです。
- 「要領良く目録を採って定時に帰ることを目指す会」は、筑波大学附属図書館(筑波大附属図書館)の「要領良く目録を採って定時に帰ることを目指す会」です。
- 明らかに誤った書誌が見つかったら、自館作成の書誌でなくても修正しましょう。ローカルの書誌だけ修正しないように。

(c) 要領良く目録を採って定時に帰ることを目指す会
Installed: 2011/12/15

目録規則上の整合性チェックを機械的に行う
機能をシステム内に追加することで、
「うっかり」間違いを無くす。



<新目録システムのメリット>

- ・ 外部MARCを有効活用することで、均一な品質の書誌を簡単に作成できる
- ・ 発注から目録までの各処理にかかる時間が短縮される

★書誌の品質を維持したままで、資料の整備に関する負担を軽減できる

<問題点・今後の課題>

- ・ 運用体制の検討、広報・周知の徹底が必要
- ・ 現行のMARC項目について要検討